

問 男子ホッケー日本代表チームの強化合宿は誘致事業、宿泊料だけでなく、「おもてなし」で物産・観光・交流等の事業を行う考えはないのか。

答 あくまで強化のため合宿であるが、当町には松前ホッケークラブ、地元伊予高校がある。全日本との練習は素晴らしい経験になる。おもてなしなども、練習の支障にならない程度で、監督・スタッフと協議したいと思っている。

(早瀬議員)

(全員一致で可決)

他に県営事業の負担金と、エアコン設置のための町債について質疑、答弁があった。

議案第65号

特別会計

松前町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

要旨

今回の補正予算は、保健事業費に係る経費を追加し、国民健康保険基盤安定負担金の確定に伴う財源の組替えと、平成30年度の決算見込額の再算定により不足額を補正する。

問 特定健康診査等事業費の対象基準の変更に伴い検査対象者がどのように増えたのか。

答 昨年までは、前年度の検査結果で血糖・脂質・血圧・腹囲など、全ての数値に該当する人が対象となっていたが、今年度からは、血圧の数値のみでも対象となるなどの変更により、該当する人が増加した。

(藤岡議員)

(全員一致で可決)

議案第66号

松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

要旨

今回の補正予算は、平成29年度の事業費の清算及び平成30年度の決算見込額の再算定並びに保健事業費の増加に伴い補正する。

特に質疑はなし。

(全員一致で可決)

議案第67号

松前町介護保険特別会計補正予算(第3号)

要旨

今回の補正予算は、人件費の増加及び制度改正に伴う、介護保険システムの改修費に対する国庫補助額の決定と、介護予防・生活支援サービス事業費等の増加により補正する。

問 歳入の地域支援事業交付金の介護予防・日常生活支援総合事業以外とは、どのような内容か。

答 地域包括支援センターの運営等の「包括的支援事業」と、配食サービス等の「任意事業」である。

(藤岡議員)

問 補正のほとんどが介護予防・生活支援サービス事業費の負担金だが、今後費用は増えるのか。それにより、認定が受けにくくなることはないのか。

答 昨年度の上半期と比較すると、ヘルパーは1割増、デイサービスは、約2割の増となっている。

(村井議員)

答 高齢者数の増加と比例して、認定者やチェックリストによる総合事業対象者数の増加に伴い費用の増加も予想される。

介護予防事業の実施により、サービス利用に至らず、健康寿命を延ばすことで費用の増加を抑制したいと考えている。

認定は基準に沿って公平に行っており、サービスを抑えるため認定が受けにくくなることはない。

要支援者は、包括が自立支援のためのプランを立てている。

問 ヘルパー・デイサービスの費用は昨年度と比較してどのくらい増えているか。

答 昨年度の上半期と比較すると、ヘルパーは1割増、デイサービスは、約2割の増となっている。

(金澤議員)

意見

予防事業で効果を上げている自治体もある。なるべくサービスを利用しなくても済むような形を作ってほしい。

税金は相互扶助であり、お互いが納得いくようにするため、予防事業の推進とその効果について、目に見える形で周知し、町民の皆さんに対し啓蒙していただきたい。

(金澤議員)

(全員一致で可決)

和楽園南側の全景から



介護予防のレクリエーション



(和楽園)